平成２９年度　県立筑後特別支援学校　学校経営方針

本校では、創立以来、児童生徒の自立と社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズを把握し、子どもたちの能力や可能性を最大限に伸ばすとともに、生活や学習上の困難を克服するため、適切な指導と必要な支援に努めてきた。また、地域の学校との交流及び共同学習を推進し、共生社会の基盤づくりに取り組んできた。さらに、医療、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、本校の教育を充実させるとともに、センター的機能を発揮し地域の学校等を支援してきた。

平成２３年度からは、これまでの教育活動を「キャリア教育」及び「ＩＣＦの活用」の視点から一層充実させてきた。学習指導においては、平成２７年度から、小・中・高の学習指導の系統性と一貫性を図るため、全員による教科・領域毎の授業研究を進めている。平成２８年度には、各教科・領域毎に学習内容段階表を試作して、指導と評価の一体化を図ることで、一層個に応じた指導の深化を試みている。

今後も、本校の強みである「連携」する力を維持しつつ、今まで培ってきた教育力を継承していく必要がある。また、「合理的配慮」などの課題にも対応していくことが求められている。

平成２９年度も、児童生徒の人権尊重と安全確保を根底に据え、入学前から卒業後の自立・社会参加を見据えて、多様化する児童生徒一人一人の実態に応じた支援と指導の充実にさらに努め、日々の授業実践により児童生徒の成長を促がしていく。また、大量退職・大量採用に伴う世代交代を円滑に進めるためにも、校内における職員の役割分担や連携の在り方をさらに効果的・効率的なものとし、チーム筑特・オール筑特として学校の組織力を一層高めていく。

１　本校教育の基本理念

児童生徒の基本的人権を尊重し、深い愛情と理解をもって、個々の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、自立と社会参加の力を育成することに努める。

〈　師　標　〉

この子を愛し、この子をみつめ、この子の道を求め、この子とともに歩かん

２　学校教育目標

児童生徒一人一人のよさをみつめ、伸ばし、たくましく生き抜く力を育む

３　学校の中長期的な目標（平成２６年度～平成３０年度）

鍛ほめ福岡教育メソッドの実践

○　児童生徒一人一人の将来を見通したキャリア教育の推進
○　児童生徒の自立と社会参加を目指した地域・関係機関との連携の強化
○　共生社会の形成に向けたセンター的機能の充実

４　平成２９年度の重点目標

○　児童生徒の発達段階に対応した適切な指導と必要な支援の充実
○　児童生徒の人権と安全を守る教育力の充実
○　教職員の資質能力のさらなる向上